低気圧と前線による大雨について

（土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に最大級に警戒）

気象庁

令和7年8月11日12時00分

＜ポイント＞

九州北部地方では線状降水帯による猛烈な雨※1や非常に激しい雨※2が降り続いており、熊本県の5市2町に大雨特別警報を発表中。引き続き大雨災害に最大級に警戒。前線が西日本日本海側から東北地方に停滞する影響で、北日本から西日本の広い範囲で12日（火）にかけて大雨となる。

＜概況＞

前線が西日本日本海側から東北地方にのびており、前線上の低気圧が日本海を東北東に進んでいる。北日本から西日本では前線や低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込んでいる影響で、大気の状態が非常に不安定となっている。前線は12日にかけて西日本日本海側から東北地方に停滞し、前線上の低気圧が次々と通過する見込みで、北日本から西日本では大気の状態が非常に不安定な状態が続く。

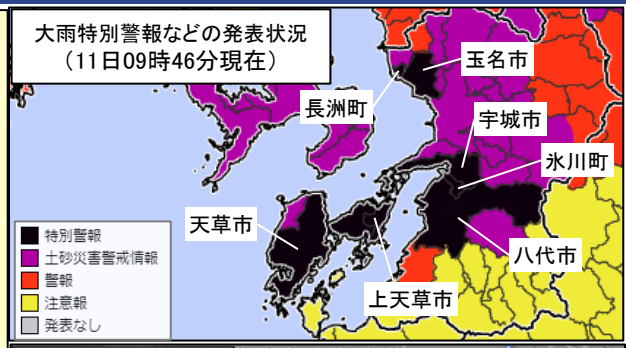
＜大雨＞

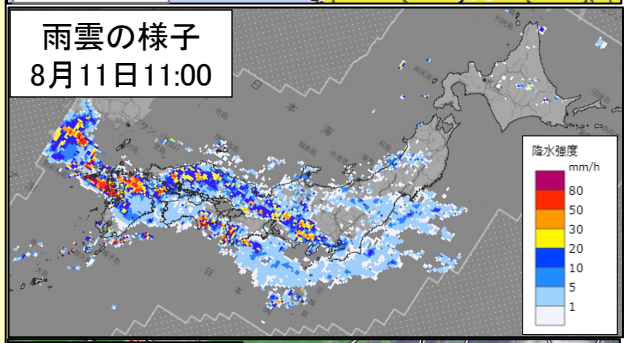
九州北部地方では9日（土）夜遅くから11日（月）にかけて線状降水帯が繰り返し発生し、福岡県や熊本県では24時間降水量が多い所で400ミリを超え、平年の8月の月降水量を超える記録的な大雨となった。熊本県では大雨災害の危険度が非常に高くなったため、11日00時20分に熊本県玉名市、長洲町、05時25分に八代市、宇城市、氷川町、08時10分に上天草市、09時15分に天草市に大雨特別警報を発表した。熊本県では、11日昼過ぎにかけて線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まるおそれがある。引き続き12日にかけても、広く北日本から西日本にかけて、雷を伴って非常に激しい雨※2が降り、大雨となる。

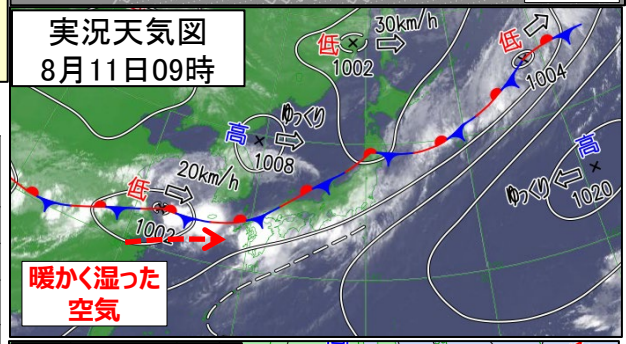
＜警戒事項＞

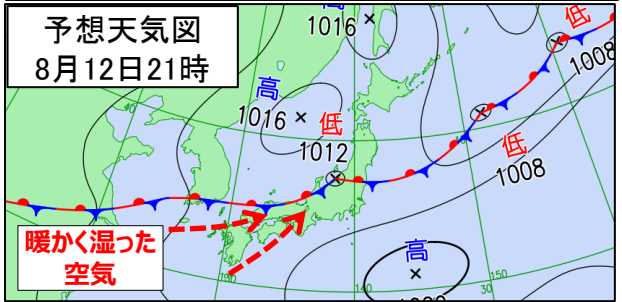
熊本県では、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に最大級に警戒。北日本から西日本の広い範囲で土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒。行楽時期のため、出先の気象情報に留意。

※1　猛烈な雨：1時間に80ミリ以上の雨　※2　非常に激しい雨：1時間に50ミリ以上80ミリ未満の雨









【警報級となる可能性のある期間】8月11日11時時点

日			11日		12日	13日
時			12～18	18～6	6～24	
北日本	北海道地方	大雨	■	■		
	東北地方	大雨	■	■	■	
東日本	関東甲信地方	大雨	■	■	■	■
	北陸地方	大雨	■	■	■	■
	東海地方	大雨	■	■	■	
西日本	近畿地方	大雨	■	■	■	
	中国地方	大雨	■	■	■	
	四国地方	大雨	■	■	■	
	九州北部地方	大雨	■	■	■	
	九州南部	大雨	■	■		

（■可能性がある、■可能性が高い）

【大雨の見通し】（単位：mm 多いところ）

地域	12日12時までの24時間雨量	13日12時までの24時間雨量
北海道地方	80	50未満
東北地方	80	60
関東甲信地方	150	80
北陸地方	120	100
東海地方	200	80
近畿地方	150	50
中国地方	120	60
四国地方	150	50未満
九州北部地方	200	60
九州南部	60	50未満